

# はま Y O U

Vol.  
**45**  
2020.夏号



白浜町「白良浜と麦わら帽子」  
撮影者:理学療法士 坂本健一

## CONTENTS

理念・基本方針  
公益目的事業へのご寄附のお願い… 2

公益財団法人白浜医療福祉財団  
副理事長就任ご挨拶…………… 3~4

2020年度財団事業計画…………… 5~7

2019年度白浜はまゆう病院診療実績… 8

各部署から  
～事務部のご紹介～…………… 9~10

当院職員が新聞に掲載されました… 10

-----

1週間のバランス献立…………… 11

-----

●白浜はまゆう病院 外来診療担当表

### 乳腺外科

診療日 / 月・火・木・金曜日

受付時間 / 午前8時半～午前11時半

診療時間 / 午前9時～午後0時

担当 : かわ 粉川 部長  
ようぞう 庸三 部長

### 泌尿器科

診療日 / 月・水曜日 午前・午後  
火・木・金・土曜日 午前

受付時間 / 午前8時半～午前11時半  
午後1時半～午後4時半

診療時間 / 午前9時～午後0時  
午後2時～午後5時

担当 : かわしま 川嶋 部長  
ひでのり 秀紀 部長  
きむら やすのり 医師  
木村 泰典 医師

白浜はまゆう病院は、夜間・休日を問わず  
「365日・24時間の救急医療」に対応しています。



公益財団法人日本医療機能評価機構 認定施設複合病院(一般病棟1・  
リハビリテーション病院・慢性期病院)機能種別版機能評価項目3rdG:Ver.1.1



NO SMOKING

敷地内  
全面  
**禁煙**

# 理念

私たちは、地域に根ざした医療機関として、誠実さと思いやりをもって、質の高いサービスを提供し、健康・福祉のレベルの高い地域づくりに努めます。

# 基本方針

## 1. 利用者の権利の尊重

私たちは、健康増進から看取りまで、利用者の皆様の気持ちや権利を大切にされた医療とケアを提供します。

## 2. 地域に開かれた存在

私たちは、24時間いつでも、誰でも、困った時は気軽に受診・相談していただける、地域に開かれた医療機関・サービス提供機関を目指します。

## 3. 協力と連携

私たちは、院内各職種が手を携え、地域の他機関とも協力連携し、健康増進・診断と治療・リハビリテーション・看取りまでの一貫した包括的な地域医療と福祉を提供します。

## 4. 利用者とのパートナーシップ

私たちは、患者・利用者の皆様と手を携え、安全で質の高い医療・ケアを提供します。

## 5. 事故・災害への対応

私たちは、大規模な自然災害や事故に対応できるように、普段から備えを強め、いざと言うときに頼りになる病院を目指します。

## 6. 質の維持と改善

私たちは、常に研修を行い、時代の水準を維持するとともに、お互いに注意し合い、サービスの質の向上に努めます。

## 7. 観光地の病院としての対応

私たちは、観光客の人々が安心して訪れられるよう、不慮の事故や病気に対しての診療体制を整備します。

あみだ  
いっ  
だれ  
でも  
みんな  
なが  
もも  
しん。



## 公益目的事業へのご寄附のお願い

当法人の公益目的事業にご理解とご賛同をいただき、是非ご寄附をお寄せくださいますようお願い申し上げます。皆様からの寄附金は、公益目的事業遂行のために有効に使用させていただきます。

### 事業目的

当法人は、白浜町及びその周辺地域の公衆衛生の向上と地域医療に関する事業を行い、もって地域住民及び観光滞在者等の健康と福祉の増進に寄与することを目的としています。

### 事業内容(公益目的事業)

当法人は、国立病院等の再編成計画により廃止された元国立白浜温泉病院施設を、医療施設として再利用してほしいという地域住民の願いを実現するため、白浜町はじめ民間団体等の参画により開設された法人です。

現在白浜はまゆう病院、診療所、訪問看護ステーション、骨リウマチ疾患探索研究所を運営し、予防から治療、リハビリテーション、看取りまでの医療・ケアを提供し、地域医療の向上や地域住民、観光滞在者等の健康と福祉の増進に寄与する事業を行っています。

- |   |                                  |
|---|----------------------------------|
| (1) 地域医療を主体とする病院の管理運営                           | (6) 生活習慣病予防の健康診断及び健康増進並びにがん検診事業  |
| (2) 救急医療の実施                                     | (7) 無医地区及びへき地等における在宅療養支援診療所の管理運営 |
| (3) 介護保険法による介護医療院の運営並びに居宅介護支援事業及び指定居宅サービス事業等の実施 | (8) 訪問看護ステーションの管理運営              |
| (4) 開放型病院による登録医への共同利用施設としての医療機器及び病床の提供          | (9) 医療・保健・福祉に関する調査研究並びに普及啓発      |
| (5) 温泉を活用したリハビリテーションの推進                         | (10) 高齢者・障害者等の医療とケアに関する調査研究      |
|   | (11) その他、この法人の目的を達成するための事業       |

### 税制上の優遇措置

当法人への寄附金には、特定公益増進法人としての税法上の優遇措置が適用され、所得税(個人)、法人税(法人)の控除を受けることができます。(詳細は白浜はまゆう病院ホームページをご覧ください。)

### 寄附金の申込

白浜はまゆう病院ホームページに掲載しております寄附金申込書に必要事項をご記入の上、下記まで郵送・ファックスしてください。もしくは、下記までご連絡をお願い致します。

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地 白浜はまゆう病院内  
公益財団法人白浜医療福祉財団 法人事務局  
TEL 0739-43-6200 / FAX 0739-43-7891

# 公益財団法人白浜医療福祉財団 副理事長就任ご挨拶



公益財団法人白浜医療福祉財団 副理事長  
白浜はまゆう病院 副院長・診療技術部長・地域ケア室長  
國部 久也

今回 財団評議員会・理事会の推薦、ご承認を頂き、副理事長に就任いたしました國部久也でございます。宜しくお願い申し上げます。

ご縁があり、2006年1月より白浜はまゆう病院に就職させていただいてから、今年で15年目に入りました。

就職当初は目の前に白良浜が広がった風光明媚な景色を見て、ここを医師としての人生を終える最後の場所にふさわしいと勝手に心に決めてはや14年が経ちました。

公益財団法人白浜医療福祉財団は1993年2月に設立されて27年目にはいっております。1994年2月に白浜はまゆう病院を開院後、病院を中核事業として診療所・訪問看護ステーション・通所リハビリテーションセンターを運営し、法人の設置目的である地域住民及び観光滞在者等の健康と福祉の増進に努めてまいりました。

2020年4月から新しく辻本登志英院長が就任して、病院職員と一丸となって病院・財団の運営に邁進しております。

現在、財団では病院本館の建て替え・竣工を終え、南館の改装・改築工事を来年3月の竣工を目指して鋭意工事中です。工事に伴う赤字は予想しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延という問題が日本全体に大変大きなダメージを与えており、医療全体に同じような影響があり、経営に大きな損害がでており、すでに病院倒産などの報道も散見される今日この頃です。

これらのダメージ以外にも実質上の診療報酬の引き下げの影響で、当財団の財政運営は依然として厳しい状況が続くことが強く予測されます。

2025年問題(団塊の世代が75歳以上)も訪れようとしております。

この地域でも、疾病や要介護状態の高齢者が大きく増加し、独居の高齢者世帯や高齢者のみの世帯も増加していくことが予想されます。

特にこの地域では、著しく高齢化・人口減少が急速に進んでおります。

このような切迫した環境のなかで、地域の方々ができる限り住み慣れた地域で自分らしい生活を送ることを実現するためには、介護・医療・住まい・生活支援・予防が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築がまず何より必要になってきております。

田辺医療圏の医療体制は2025年問題で想定される医療需要に対して、回復期病床が不足していますが、急性期病床や慢性期病床が過剰とされています。地域医療体制の崩壊を防ぐ意味で、県は和歌山県地域医療構想を策定し、需要バランスに沿った病床再編を推進していくとされています。

当院では2020年4月から南館4階の介護療養型医療施設を介護医療院に転換し、医療法上48床の病床削減を実現しております。

医療提供体制の将来への展望を踏まえ、質が高く、効率的な医療提供体制を確保するために、医療従事者が健康で安心して働くことのできる環境の整備が喫緊の課題となっています。

病床の削減などの推進で今後収支の面でも、厳しい局面があり、事業運営は困難な状況が余儀なくされることが予想されます。

病院の経営にはヒト・モノ・カネ・情報の経営資源の管理・確実な運営が基本です。

安全安心の医療提供には、まずもって大事な部分がヒトです。医師・看護師・コメディカルスタッフ・事務職を確保して足場をしっかりと固めることが最重要課題です。モノについては新本館の竣工に次いで、病院南館改修工事を施工しており、2021年3月には竣工予定でございます。

このような状況のなかで、地域住民の方々をはじめ、白浜町からのさらなる支援を戴きながら、効率的な事業運営に地域住民の方々当財団に求めるものと当財団が持つハード・ソフトの強みを的確に把握し、この地域で求められる、必要とされている役割を適切に発揮できるように全力で取り組んでまいります。

今後とも私たち職員一人一人が公益財団法人の職員であることの意識と自覚をもって、財団の理念と基本方針に基づいて地域医療を支える医療人として、施設や職種を超えて連携・協力を深化させ、顔の見える関係づくりを行い、健康と福祉のレベルの高い地域づくりを目指し、辻本院長の指導の下、財団副理事長として職務に邁進してまいります。

今後とも、何卒ご指導・ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

# 公益財団法人白浜医療福祉財団

## 2020年度の主な事業計画

公益財団法人白浜医療福祉財団は、1993年2月に設立されて以来27年、1994年2月の白浜はまゆう病院開院後、病院を中核事業として診療所、訪問看護ステーション、通所リハビリテーションセンターを運営し、法人の設置目的である地域住民及び観光滞在者等の健康と福祉の増進に努めてきました。

今後、2025年度までには団塊の世代が75歳以上となり、地域において疾病や要介護状態にある高齢者数が大きく増加し、独居の高齢者世帯や高齢者のみの世帯も増加していくことが予想されます。特に、当地域では、全国に先駆け、著しく高齢化、人口減少が進んでいます。そのような中、地域の方々ができる限り住み慣れた地域で自分らしい生活を送ることを実現するためには、介護、医療、住まい、生活支援、予防が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築が必要になってきます。

このような状況のなか、地域住民の方々をはじめ、白浜町からのさらなるご支援を戴きながら、効率的な事業運営に努め、地域住民の方々が当財団に求めるものと当財団が持つ強みを的確に把握し、この地域で必要とされている役割を適切に発揮できるよう、全力で取り組んでいきます。

### 1 法人事業計画

- (1)「理念」「基本方針」の実践
- (2)運営基盤の整備、財政基盤の強化
- (3)人材確保及び研究・教育研修活動
- (4)広報・啓発の強化
- (5)医療・保健・福祉連携の推進

### 2 白浜はまゆう病院

- (1)医療人材の確保と育成及び働き方改革に向けた対策  
医師・看護師等を始めとした専門技術職の採用  
教育・研修を通じた人材育成、リーダー・監督職の人材育成 研究発表の奨励 専門資格者の養成  
働き方改革に向けた取り組みの推進
- (2)主要診療機能の拡充・検査体制  
常勤医師確保による診療体制の強化充実に努める。
- (3)施設整備(南館)  
経年劣化に伴う設備改修工事が昨年度よりスタートして本年度での完成を目指している。将来の需要に即した施設整備を行い、災害にも強い施設としてこの地域で必要とされる医療施設を目指す。
- (4)診療報酬、介護報酬改定への対応  
2020年の診療報酬改定の情報を収集し、既存の施設基準の維持と新たな施設基準の取得を検討する。
- (5)地域医療構想の取り組み  
当院が担うべきリハビリテーション、脳神経内科、リウマチ治療など必要とされている医療を提供し、地域に寄り添う医療機関としての役割が果たせるよう取り組みを進める。
- (6)院内保育所の充実  
看護師、薬剤師、リハビリテーションセラピスト等の採用困難な職種の新規採用と離職防止に繋がるよう、保育内容の充実と更なる利用率アップを目指し、育児と仕事を両立できる職場づくりを推進する。
- (7)医療安全対策、院内感染対策の充実
- (8)医療情報システム更新に向けて  
医療情報システムの2021年度での全面更新に向けて検討を行う。
- (9)救急医療体制の再構築、へき地医療支援の継続、在宅ケアの推進
- (10)財団内施設間の連携の強化と多職種にわたるチーム医療の推進
- (11)病院機能評価認定更新後の継続的な業務改善活動の推進  
本年度中の認定更新を目指し、より質の高い医療サービスが提供できるよう、事務局が中心となり病院一丸となって取り組みを推進する。
- (12)健全経営の維持  
外来の増患、病床稼働率の維持、収益単価の向上、新規施設基準・加算の届出、コスト管理の徹底を図る。
- (13)危機に強い病院づくり  
災害支援病院として、災害時に強い病院づくりを推進し、DMAT(災害派遣医療チーム)を核にした災害医療体制の強化を行うとともに、BCP(事業継続計画)を整備し災害時において病院事業継続計画に則った対応が取れるよう訓練を行う。

### 3 西富田クリニック

- (1) 外来診療機能の充実・安定を図り、患者数の確保に努める。
- (2) 財団関係施設、他の医療機関、介護事業所との協力連携を更に深め、24時間体制で往診・訪問看護に対応する「在宅療養支援診療所」として在宅医療の充実を図る。  
休日・夜間の患者様からの問い合わせに対応し、白浜はまゆう病院への連携を図る。  
2015年4月からスタートした白浜はまゆう病院の地域包括ケア病棟を活用して、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるように、地域包括ケアシステムの構築に努める。
- (3) 食事・栄養指導、各種健診の実施に向けた体制を作る。
- (4) 財団関係施設との有機的な運営に努める。
- (5) 患者動向や医療・介護診療報酬改定の状況変化を解析し、診療所運営に反映させながら経営の安定に努める。
- (6) 画像遠隔診断等のITを推進する。

### 4 鮎川診療所

- (1) 外来診療機能を充実し、患者数の確保に努める。  
白浜はまゆう病院との更なる連携を図り、患者様が安心できる診療所運営を目指す。  
内科・泌尿器科・整形外科診療の充実・安定を図る。
- (2) 財団関係施設、他の医療機関、介護事業所との協力連携を更に深め、24時間体制で往診・訪問看護に対応する「在宅療養支援診療所」として在宅医療の充実を図る。  
白浜はまゆう病院との連携により、休日・夜間の患者様からの問い合わせに対応する。  
白浜はまゆう病院の地域包括ケア病棟を活用して、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるように、地域包括ケアシステムの構築に努める。
- (3) 地域に密着し、地域の方々にも広く利用していただける診療所運営に努める。
- (4) 通院困難者等への送迎サービスの提供により利便性を高め患者満足度及び受診率の向上を図る。
- (5) 在宅医療の一環として訪問診療を行うなど、地域に密着した運営を行う。
- (6) 地域の保健・福祉・介護事業所・学校等と連携し、医療面での支援・協力を行う。
- (7) 検査チャトル便の利用等を通じ、白浜はまゆう病院の診療機能を活用するとともに、財団関係診療所との一体的な運用に努める。
- (8) 電子カルテシステム・遠隔画像診断システムを有効に活用し、診断の向上に努める。
- (9) 保険診療において、査定・返戻等を検討し、経営の健全化を図る。
- (10) 特定健診を実施する。
- (11) 診療報酬改定の内容を検証、分析をして的確な判断と対応を行い診療所運営に反映させながら経営の安定維持に努める。

### 5 日置診療所

- (1) 外来診療機能を充実し、患者数の確保に努める。
- (2) 特定健診を実施する。
- (3) 財団関係施設、他の医療機関、介護事業所との協力連携を更に深め、24時間体制で往診・訪問看護に対応する「在宅療養支援診療所」として在宅医療の充実を図る。  
白浜はまゆう病院との連携により、休日・夜間の患者様からの問い合わせに対応する。  
白浜はまゆう病院の地域包括ケア病棟を活用して、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるように、地域包括ケアシステム構築に努める。
- (4) 白浜町指定管理者制度の趣旨を踏まえ、地域の保健・福祉・介護事業所・学校等と連携し、医療面での支援・協力を行う。
- (5) 通院困難者等への送迎サービスの提供により利便性を高め患者満足度及び受診率の向上を図る。
- (6) 検査チャトル便の利用等を通じ、白浜はまゆう病院の診療機能を活用する。
- (7) 電子カルテシステム・遠隔画像診断システムを有効に活用し、診断の向上に努める。
- (8) 診療報酬改定の内容を検証、分析をして的確な判断と対応を行い診療所運営に反映させながら経営の安定維持に努める。

## 6 三舞診療所

- (1) 白浜町指定管理者制度の主旨を踏まえ診療所における保健医療を充足し、地域住民の健康増進に寄与する。
- (2) 外来診療、週2回を継続する。
- (3) 電子カルテシステム・遠隔画像診断システムを有効に活用し、診断の向上に努める。
- (4) 診療報酬改定の内容を検証、分析をして的確な判断と対応を行い診療所運営に反映させながら経営の安定維持に努める。

## 7 川添診療所

- (1) 外来診療日数は、週3日を継続し、休診日は白浜はまゆう病院や財団関連診療所のご案内をして患者様の不安を軽減するよう努める。
- (2) 財団関係施設、他の医療機関、介護事業所との協力連携を更に深め、24時間体制で往診・訪問看護に対応する「在宅療養支援診療所」として在宅医療の充実を図る。白浜はまゆう病院との連携により、休日・夜間の患者様からの問い合わせに対応する。白浜はまゆう病院の地域包括ケア病棟を活用して、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるように、地域包括ケアシステムの構築に努める。
- (3) 白浜町指定管理者制度の趣旨を踏まえ、地域の保健・福祉・介護事業所等と連携し、医療面での支援・協力をを行う。
- (4) 送迎自動車を運行し、通院困難な患者様へのサービス提供を行う。
- (5) 電子カルテシステム・遠隔画像診断システムを有効に活用し、診断の向上に努める。
- (6) 診療報酬改定の内容を検証、分析をして的確な判断と対応を行い診療所運営に反映させながら経営の安定維持に努める。

## 8 訪問看護ステーションたんぽぽ

- (1) 積極的な営業活動を推進し、利用者の拡大に努め経営の向上安定を図る。
- (2) 居宅サービス事業者として、他の事業者とのチームワークを大切にして、サービスの質の向上と円滑な提供に努める。
- (3) 業務改善を図り、訪問事業の円滑な運営を行う。訪問看護、訪問リハビリを効率的に行う。
- (4) 利用者数に見合った職員数を確保し、事故防止に努め、利用者が安心してサービスが受けられるようにする。
- (5) 研修に積極的に参加し、職員の資質の向上を図り、質の高い看護・リハビリを提供し、利用者との信頼関係を深める。
- (6) 財団関係施設及び白浜医療・保健・福祉総合センター内施設間の連携に努め、在宅ケアを推進する。白浜はまゆう病院の地域包括ケア病棟を活用して、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるように、地域包括ケアシステムの構築に努める。
- (7) 利用者の増加、訪問ニーズに対応するため、土曜日1日勤務を1.5名～2名で対応する。
- (8) 看護学生の実習受入を継続し、人材確保に向けた取り組みに繋げていく。
- (9) 診療報酬改定の内容を検証、分析をして的確な判断と対応を行い訪問看護事業運営に反映させながら経営の安定維持に努める。

## 9 骨リウマチ疾患探索研究所

- (1) 関節リウマチおよび骨粗鬆症に関する市販後薬を対象とした臨床研究を行う。大阪市立大学大学院医学研究科整形外科を主体として行われてきた臨床研究をサポートする。
- (2) 関節リウマチに係るTOMORROW研究・ALIBABA試験・BeeDAI試験を継続する。
- (3) 2014年に立ち上げたWaRAネット(関節リウマチ啓蒙講演会)を2020年は申本地区で開催予定。
- (4) 骨粗鬆症に関する臨床研究については薬剤の切り替えに関する臨床研究のプロトコルを作成中。

## 10 通所リハビリテーションセンター

- (1) 理学療法士、作業療法士等が利用者一人ひとりに適したリハビリテーションを提供し、日常生活における活動支援や社会参加の獲得を目指した個別指導やトレーニング等を行う。
- (2) リハビリニーズの高い利用者他に他のサービス事業所の中から第一に選ばれる施設を目指し、サービスの質の向上と利用者の確保に取り組むとともに、収支の安定を図る。
- (3) 指定居宅サービス事業者として、他の事業者と連携して、サービスの質的向上と円滑な事業提供に努める。
- (4) 常に日常業務全般を見直し、通所リハビリテーション事業の効率的な運営を行う。
- (5) 利用者数に見合った職員数を確保し、事故防止に努め、利用者が安心してサービスが受けられるよう工夫する。
- (6) 研修に積極的に参加し、職員の資質の向上を図り、質の高い通所リハビリテーションを提供し、利用者との信頼関係を深める。
- (7) 財団関係施設及び事業所間の連携に努め、在宅ケアを推進する。

### 《クリニカルインディケータ》

#### クリニカルインディケータとは？

医療の質を定量的に評価することで、医療の質を客観的に測ることのできる【ものさし】にあたります。当院でもいくつかのクリニカルインディケータを設定して、医療水準や質の面での改善課題や引き上げ目標を明確にして取り組んでいます。

		2017年度	2018年度	2019年度	
患者数	外来延数	77,256人	77,622人	75,473人	
	外来1日平均	264人	266人	260人	
	入院延数	87,387人	86,323人	82,370人	
	入院1日平均	239人	237人	225人	
平均在院日数	一般病棟	18.2日	15.8日	14.8日	
	回復期リハビリ病棟	74.2日	66.5日	71.3日	
	医療療養病棟	265.5日	204.0日	185.7日	
	地域包括ケア病棟	30.9日	31.3日	24.3日	
	介護療養病棟	136.6日	130.2日	98.6日	
病床利用率	一般	本館 4 階	89.1%	88.8%	88.4%
		本館 5 階	88.5%	86.4%	84.5%
	回復期リハ	南館 5 階	90.7%	87.0%	86.6%
	医療療養	南館 3 階	94.6%	91.7%	89.8%
	地域包括ケア	本館 3 階	82.0%	83.6%	72.3%
	介護療養病棟		96.6%	97.4%	83.8%
救急搬入患者	救急搬入患者	搬送患者数	1,029人	1,064人	1,071人
		救急応需率	95.9%	95.5%	92.6%
退院患者	死亡退院患者率		9.8%	9.6%	8.3%
	退院後6週間以内の予定外再入院率		3.5%	6.2%	5.4%
	退院後6週間以内の救急医療再入院率		0.1%	0.3%	1.0%

### 《各診療科の主な手術》

	手術名	件数
整形外科	骨折観血的手術	70
	人工関節置換術	58
	人工骨頭挿入術	17
	観血的関節固定術	11
	観血的整復固定術	10

	手術名	件数
外科	胃悪性腫瘍手術	8(4)
	結腸・直腸悪性腫瘍手術	16(11)
	腹腔鏡下胆嚢摘出術	12
	ヘルニア修復術	22(15)
	全身麻酔手術件数	83

※ ( )は腹腔鏡下手術の件数

	手術名	件数
泌尿器科	前立腺生検術(検査)	23
	膀胱悪性腫瘍手術	9
	経尿道的尿管ステント留置術	7
	膀胱結石摘出術(経尿道的手術)	4
	経尿道的尿路結石除去術	3

	手術名	件数
乳腺外科	乳腺悪性腫瘍手術	51
	乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術	10
	乳腺腫瘍摘出術	2

	手術名	件数
内科	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術	88
	内視鏡的胆道ステント留置術	15
	内視鏡的消化管止血術	11
	胃瘻造設術	9
	内視鏡的胆道結石除去術	8

# 各部署から

～事務部のご紹介～



事務長 布袋 仁也

今年の4月より白浜はまゆう病院事務長を拝命しました布袋仁也と申します。みなさまのご指導を仰ぎながら職責を全うしてまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、今回は事務部の紹介をさせていただきます。

病院の職員というと、白衣やユニフォームを着た医師や看護師、薬剤師や検査技師、理学療法士等の患者様の治療や検査、ケアを担当する職員がすぐに思い浮かびます。しかし、病院の業務は診療やケアだけではなくありません。病院には、組織を運営し経営を担う事務員や、医療・ケアを円滑に提供できるよう医療スタッフを支える事務員の存在が不可欠です。

白浜はまゆう病院内には事務部として総務課・医事課・情報管理室がありますが、他にも事務員が勤務する部署としては人間ドック・健診センター、医療の質管理室、地域ケア室、訪問看護ステーションたんぼぼ、骨リウマチ疾患探索研究所があります。財団内に事務員は総勢52名おり、それぞれ幅広い業務を担当しています。

各部署の主な業務は以下の通りです。

総務課は職員の採用等の人事や物品の購買、委託業者との契約、広報、経理、施設管理などの幅広い業務を担当しています。一言で言うと職員が働く場をソフト・ハード両面で整備する部門ということになるのですが、10年前と比べると職員数も100人近く増え、近年の働き方改革に代表される各種制度の改定に伴い総務課業務も複雑多岐にわたっています。

医事課は病院の顔として受付業務を担当すると同時に、医療職の日々の営みを診療報酬請求書(レセプト)を通じて収入に変える保険請求業務、病院が診療報酬請求を行うための根幹となる施設基準の管理、医事システムを利用した統計作成等を行っています。

情報管理室は財団で使用している電子カルテシステムをはじめとする様々なシステムの運営管理を担当しています。私が入職した頃は当たり前のように紙のカルテを使っていましたが、2005年から電子カルテが導入され非常に便利になった一方で、システムのメンテナンスを担当する職員が必要となりました。

それ以外の部署の事務員も、来院者対応や電話対応、データ入力や資料作成、書類とりまとめ、保険請求等の業務にあたっています。

こうしてみると病院を裏方として支える職種というイメージが強いですが、医療の現場で働く各医療職の専門化が進む中、「誰かがやらないといけないが担当する者がいない業務」が必ず生じます。事務部門はそういう細かな業務も担当し、病院全体の運営をサポートできるように努めています。

また、医療機関に勤務する事務員として重要な業務としては、企画・経営・管理において中心的役割を担うということがあげられます。日々の業務から集積できるデータを分かりやすく資料にする、国が定める公定価格である診療報酬・介護報酬の改定へタイムリーに対応する、院内のさまざまな課題に対して多職種の間を取り持って改善・解決に導く、ダイナミックかつ繊細で難しい業務ですが、その分課題が前に進んだ時の喜びは非常に大きいものがあります。

さまざまな国家資格を持った専門職が活躍する病院において、事務員は国家資格を持たない職種です。しかし、その分もっとも患者様に近い存在であると考えています。医療業界の常識にとらわれず、患者様と同じ目線でものごとを考える部門でありたいと思っています。

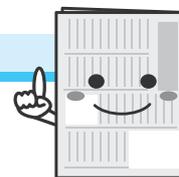
今後とも事務部スタッフ一同、当院を利用してくださるみなさまのお役に立てるよう努力してまいります。よろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、今年度より当院においても発熱患者様を別室で対応させていただいたり、入院患者様への面会を原則禁止とさせていただく等の対応を取っております。

そのため通常よりも時間がかかるなどご迷惑をおかけしておりますが何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。

職員も出勤時の体温測定、業務中のマスク着用、手指消毒等の感染対策を徹底しております。お気づきの点がありましたらお気軽にお声掛けください。

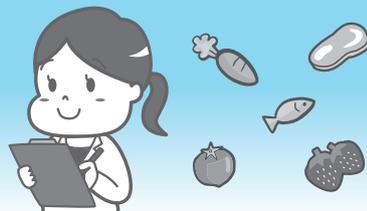
## 当院職員の研究発表が新聞に掲載されました



リハビリテーション室で勤務する橋爪佑示子理学療法士が和歌山県立医科大学大学院研究生として、孤独死や認知症患者の死亡の傾向をまとめ、同大学で研究成果を発表し、新聞に掲載されました。2003年から2018年に法医解剖された3000例を調査。研究の結果、「孤独死率は紀南地方で高い」「認知症の方が行方不明になるのは秋冬の夕暮れ以降に多くなる」といった傾向が判明しました。高齢化の進んでいる地域での対策に役立てていただきたいとのことです。

(2020年4月29日 毎日新聞 掲載)

# 一週間の バランス献立



食養科  
古井 啓詞

管理栄養士が伝えたい日々の食事のポイントについてご紹介いたします。  
 食事の基本は主食・主菜・副菜をバランス良く組み合わせることです。  
 1週間を目安に色んな食材で、調理法・味つけ等を工夫しながら食事を楽しんでみてください。  
 組み合わせることで様々な種類の栄養素を摂ることができます。

## たんぱく質について

- ・筋肉、内臓、髪や爪、皮膚などをつくる栄養素。
- ・肉・魚・卵・大豆製品・乳製品に多く含まれます。
- ・食欲がなくて食べられない時は、ご飯よりも肉や魚などおかずを積極的に食べましょう。



	朝	昼	夕
日	米飯・味付海苔 白菜煮浸し 味噌汁・牛乳・漬物 	米飯・白身魚のパン粉焼き 冬瓜含め煮 韓国風サラダ・漬物 	米飯・華風卵焼き・昆布豆 ポテトサラダ・漬物
月	ロールパン・ジャム ほうれん草卵炒め 果物・牛乳 	米飯・豚肉トマト煮 ひじき炒り煮・大豆サラダ 漬物	米飯・鰯西京焼き・焼きなす さつまいも甘煮 果物
火	米飯・ふりかけ・じゃが芋きんぴら 味噌汁・牛乳	冷やしそば 厚揚げ煮物 きゅうり酢の物 	米飯・鯖の香味焼き 高野豆腐卵とし オクラとわかめのサラダ・漬物
水	米飯・味付海苔 だし巻き卵 味噌汁・牛乳 	米飯 焼き魚の梅あんかけ 里芋煮物・和風サラダ・漬物	米飯・揚げ出し豆腐 サウザンサラダ 小松菜海苔和え・果物
木	ロールパン・はちみつ コンソメスープ 果物・牛乳 	米飯・お魚ハンバーグ じゃがいも含め煮 春雨の酢の物・漬物 	米飯・鰹の蒲焼き 豆腐のそぼろあんかけ いんげんごま和え・漬物 
金	米飯・味付海苔 高野豆腐煮物 味噌汁・牛乳	米飯・豚肉のしょうが焼き 白菜中華風煮 オクラおかか和え・漬物	米飯・干草焼き・なすの揚げ煮 キャベツ酢の物 漬物 
土	レーズパン チンゲン菜のソテー 果物・牛乳	米飯・コロッケ・冷奴 なす酢醤油和え 漬物	米飯・ 鯖の照り焼き・春雨サラダ 白菜からし和え・フルーツポンチ

麺類には、麺と汁に塩分が含まれます。摂り過ぎに注意しましょう。

海藻には、食物繊維が豊富に含まれており、整腸作用を促し便秘や下痢を予防してくれます。積極的に摂りましょう。

朝食を食べて、脳と身体をしっかりと目覚めさせ、元気に1日をスタートさせましょう。

オクラには、ビタミンB1が含まれており、夏バテなどの疲労回復にも期待できます。

# 白浜はまゆう病院診療担当表

電話 **43-7880**(受付) **43-6200**(代表)

診療科		月	火	水	木	金	土	
内科	内科1(初診)	午前	辻本 登志英	加藤 寛正	岡 宏保	竹井 陽	伊藤 揚荘	高村 竜一郎
		午後						
	内科2(再診)	午前	岡 宏保	伊藤 揚荘		松尾 晃次	辻本 登志英	
		午後	中村 信男		松尾 晃次	岡 宏保		
	内科3(再診)	午前		辻本 登志英	中村信(第1・3・5)		加藤 寛正	
		午後		谷本(第1)	中村 信男	山崎 幸茂 (診察は内科1使用)	加藤 寛正	
	内科4(再診)	午前		松本 潤	竹井 陽	谷口 友志		
		午後	松本 潤	木下 正博	山下 泰伸	竹井(14:30~)		
	内科5(再診)	午前	荒居 (外科/風経ヘルニア外来)		谷口 友志	伊藤 揚荘		
		午後	國部(禁煙外来)		谷口 友志	松本 潤	谷口 友志	
整形外科1(予約制)		午前	小島 孝仁		小池 達也		岩切 健太郎	
整形外科2		午前	廣嶋 貴大	廣嶋 貴大	廣嶋 貴大	小島 孝仁	小島 孝仁	
脳神経外科		午前				尾崎 充宣		
		午後				中北(予約)		
外科/消化器外科		午前	荒居/山里	山里 有三	荒居 (外科/風経ヘルニア外来)	山里 有三	山本 大雅	当番医
装具外来		午前		装具外来		装具外来		
小児科		午前	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋
		午後	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋
婦人科		午前	國部 久也	國部 久也	國部 久也	國部 久也	國部 久也	
		午後	國部 久也	國部 久也	國部 久也	國部 久也	國部 久也	
乳腺外科		午前	粉川 庸三	粉川 庸三		粉川 庸三	粉川 庸三	
皮膚科		午前						県立医大
		午後		県立医大				
眼科		午後			担当医		担当医	
耳鼻咽喉科		午後				県立医大(第1木曜)予約制	保富(第1・3)予約制	
循環器外来(予約)		午前	岡 宏保		中村信(第1・3・5)			
		午後	中村 信男	谷本(第1)	中村 信男	岡 宏保		
呼吸器外来		午前				松尾 晃次		
		午後			松尾 晃次			
泌尿器科		午前	木村 泰典	木村 泰典	川嶋 秀紀	木村 泰典	木村 泰典	当番医
		午後	川嶋 秀紀	木村 泰典	木村 泰典			
泌尿器科(専門外来)		午後	川嶋 秀紀 (泌尿器科相談外来)			川嶋 秀紀 (神経因性膀胱女性泌尿器科)		
脳神経内科(予約制)		午前					中崎 繁明	
		午後		石口 宏		小口 健	安井 昌彰	
通院リハビリテーション外来		午前	谷口 友志	谷口 友志	担当医	担当医	岡 宏保	
		午後	岡/國部	谷口/岡	谷口 友志	國部 久也	岡/松尾	
リウマチ専門外来		午前		小池 達也		小池 達也		
膠原病・糖尿病専門外来		午前		伊藤 揚荘		伊藤 揚荘		
消化器専門外来		午前	荒居 琢磨	加藤 寛正	谷口 友志	谷口 友志	加藤 寛正	
		午後			谷口/山下		谷口/加藤	
循環器・高血圧専門外来		午前					担当医(月2回)	

※火曜日午後 内科3診/循環器外来…第1(谷本和紀) ※水・金曜日午後 眼科…予約外は先着5名までとさせていただきます。 2020.10.1~  
 ※土曜日午前 耳鼻咽喉科…第1・3(保富 宗城) 予約制 ※診療担当医が変更になる場合がございます。ご了承下さい。

受付時間	診療時間	●休診 土曜日午後・日祝
午前(月~土)	8:30~11:30	9:00~12:00
午後(月~金)	13:30~16:30	14:00~17:00
循環器外来(月第2・4水)	(予約制)	14:30~17:00
循環器外来 第1・3・5(水)	(予約制)	9:00~11:30
循環器外来(火)	(予約制)	14:00~16:30
皮膚科(火)	13:30~15:45	13:30~15:30
眼科(水)	13:30~15:30	13:30~16:00
耳鼻咽喉科(木)	14:00~16:30	14:00~16:30
耳鼻咽喉科 第1・3(土)	(予約制)	14:30~17:00
循環器・高血圧専門外来(土)	(予約制)	9:00~12:00
		9:00~12:00

※診療時間外(夜間・休日)に具合が悪くなったときは、日時に関係なく受付しますので、白浜はまゆう病院へ電話でご連絡ください。



## 公益財団法人白浜医療福祉財団

白浜はまゆう病院 ●理事長 井潤 誠 ●院長 辻本 登志英

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地

TEL.0739(43)6200 FAX.0739(43)7891 【E-mail】info@hamayu-hp.or.jp 【URL】http://www.hamayu-hp.or.jp/

■西 富 田 ク リ ニ ッ ク	〒649-2334 和歌山県西牟婁郡白浜町才野1番地	TEL.0739(45)3600 FAX.0739(45)3678
■鮎 川 診 療 所	〒646-1101 和歌山県田辺市鮎川583番地の3	TEL.0739(48)0031 FAX.0739(48)1005
■日 置 診 療 所	〒649-2511 和歌山県西牟婁郡白浜町日置206番地の1	TEL.0739(52)2002 FAX.0739(52)4192
■三 舞 診 療 所	〒649-2532 和歌山県西牟婁郡白浜町安居3番地	TEL.0739(53)0001 FAX.0739(53)0001
■川 添 診 療 所	〒646-0301 和歌山県西牟婁郡白浜町市鹿野1103番地	TEL.0739(54)0037 FAX.0739(54)0037
■訪問看護ステーションたんぽぽ	〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地	TEL.0739(43)5226 FAX.0739(43)0682
■通所リハビリテーションセンター	〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地	TEL.0739(43)8190 FAX.0739(43)8189